

道徳科における評価の視点と通知表の所見例

■道徳科で扱う道徳的価値に対する考えをもっている。

- ・教材を通して自分なりに道徳的価値を理解しているか。

「友情」を扱った授業で、「友達のために何をする必要があるかを考えて、時には叱ったり、注意したりすることが本当の友情になる場合がある。」と発言していました。〇〇さんの深い考察に担任も拍手を送りたいと思います。

■多面的・多角的な見方へと発展させている。

- ・道徳的価値にかかわる判断の根拠やその時の心情を様々な視点から捉えようとしているか。
- ・自分と違う立場や考え方などを理解しようとしているか。
- ・道徳的価値が対立場面においてとり得る行動を様々な考えようとしているか。

道徳の授業では話し合いを行っています。〇〇さんは友達のいろいろな意見を聞きながら、考えを深めている様子が見られます。「正義は勇気が必要だと思っていたけど、みんなの意見から思いやりの心も必要だと思った。」と考えを発展させていました。一つの大切なことを他の考え方と比べたり、交えたりしながら捉えようとしている態度は立派です。

■理解した道徳的価値を自分との関わりで捉え、深めている。

- ・登場人物を自分に置き換えて考え、自分の姿をイメージしているか。
- ・これまでの、そして今の自分自身を振り返り、そのときの自らの行動や思いを確かに想起しているか。
- ・道徳的価値を実現することの難しさを、自分の問題として捉え、考えを深めているか。

社会に存在するきまりの意義と役割について考えた後、「今まできまりを守れなかったことを思い出してみると、自分一人ぐらいいは守らなくてもいいだろうという弱い心があったから。」と発言していました。きまりに対する自分の行動を真剣に振り返った〇〇さんの姿は立派です。

■自己（人間として）の生き方を考え、深めている。

- ・生き方にかかわる自分の願いや課題を捉えているか。

「手品師」の授業では、自分の心に誠実に生きることを選んだ主人公の姿に感動したようです。「これから何か方向を決めなければならないときがあったら、先ず自分の心に聞いてみたい。」と述べていました。担任は、人としての生き方を自覚している証と受け止めています。〇〇さんの成長が楽しみです。

■学習に対して真面目に、真剣に取り組んでいる。

- ・積極的に挙手し発言しているか。
- ・友達の発言に真剣に耳を傾けているか。
- ・役割演技などに真面目に取り組んでいるか。
- ・話し合いに主体的に参加しているか。

道徳授業の回数が増えるごとに〇〇さんの発言は活発になっています。主人公の行動について自分の考えや感じたことを友達に伝えようとしている姿は、友達の励みにもなっています。ご家庭でも〇〇さんの頑張りをほめてあげてください。